

# YAMANOTE

2024  
38



晴天のフェスタ日和♪

**TAKEFREE**

低侵襲手術センター長あいさつ / 大隅 大介	02
療育病棟でのイベントのご紹介 / 和田 裕美	03
第9回いきいき三角山フェスタ / 工藤 北都	04
附属札幌看護学校 学校祭 / 玉村 真弓	06
神経筋 / 成育センターを静岡県議会議員が視察 / 下山 郁美	08

## 低侵襲手術センター長あいさつ ～2024年10月から da Vinci導入～

北海道医療センター 低侵襲手術センター長 大隅 大介



2024年10月より手術支援ロボットda Vinciが導入され、現在、泌尿器科、外科、婦人科にてロボット支援手術を行なっております。

導入から約1ヶ月が経過した12月16日現在、泌尿器科12件、外科12件、婦人科12件のロボット手術を大きなトラブルなく完遂し、滑り出しは上々と考えています。各科の手術内訳ですが、泌尿器科では腎悪性腫瘍手術6件、前立腺悪性腫瘍手術6件、外科では直腸切除術7件、胃切除術4件、結腸悪性腫瘍切除術1件を行い、婦人科では子宮全摘術11件および子宮悪性腫瘍手術（子宮体癌）1件を行いました。

ロボット支援手術の経験豊富な医師は積極的に症例を重ねている一方、このたびロボット支援手術に取り組み始めた医師は、安全性と手術完遂度を高めるため適切な症例を選択しながら日々研鑽しています。

実際に稼働したロボット支援手術に対する私の感想は、想像していた以上に患者さまに低侵襲であるということです。一見の創部こそ通常の腹腔鏡手術の際の直径5mmのトロッカーから8mm径とわずかに拡大しておりますが、ロボットに制御された動作ではトロッカー刺入部の腹壁にかかる負荷は極めて小さく、患者さまの創痛の訴えはほとんどありません。また腹腔内では3Dかつ拡大された視野と精密な動作のロボットアームにより、微細な血管なども損傷しないよう避けながら操作することが可能となり、従来の腹腔鏡手術よりも出血が少なく組織の不要な損傷の軽減を感じています。

すでに連携施設の先生方からは多くの症例をご紹介いただいておりますが、患者さまに低侵襲なロボット支援手術を北海道医療センターで行えるようになったことは地域の大きなメリットと考えており、今後いっそうのご紹介をお願いいたします。

またご施設を受診された患者様がロボット支援手術の適応かどうか迷われるようなケースも、遠慮なくご相談ください。ロボット支援手術の適応とならない場合でも従来の腹腔鏡など他の方法をご提案し、患者さまひとりひとりに最良の治療を行うことを心がけております。

今後とも北海道医療センターの低侵襲手術センターをよろしくごお願いいたします。

### 低侵襲手術センターの構成

- 【背景】 高齢化の進行とともに、体への負担や術後の合併症が少ない低侵襲な手技が求められています。内視鏡を使用した手技は操作部位を拡大視し、精密な手技を行えることから、術後の合併症を最低限に抑え、早期離床を可能にします。
- 【目的】 各診療科の持つ知識や技術を共有し連携を図り、より高度な内視鏡手術を行うことで、適正な治療を提供します。
- 【構成】 低侵襲手術センターは**外科、婦人科、泌尿器科、呼吸器外科**の4つの診療科を中心に活動しています。



## 療育病棟でのイベントのご紹介

療育指導室 保育士 和田 裕美

療育指導室は、西2、西3病棟（筋ジストロフィー病棟）と、西4病棟（重症心身障がい児者病棟）に分かれ、児童指導員、保育士が日中活動支援を中心に、様々な療育活動や季節の行事を提供しています。今回は、筋ジストロフィー病棟と重症心身障がい児者病棟での行事を紹介致します。

### 西2、3病棟プラネタリウム上映会・夏祭り (筋ジストロフィー病棟)

8月29日、西館リハビリテーション室ではプラネタリウム上映会・夏祭りが開催されました。プラネタリウム、魚つりや花火大会映像などのコーナーが設置されました。プラネタリウム上映会は音楽と解説の中で天井いっぱいに星空が広がり、手を伸ばせば届きそうなほど惑星が迫ってくる迫力や自分の生まれた月の星座などを観ることができました。上映会後にはそれぞれ宝探しや魚つり、花火大会映像を楽しみ、素敵な時間を過ごすことができました。



### 西4病棟夏まつり（重症心身障がい児者病棟）

8月22日、西4病棟夏まつりが開催されました。今年の夏まつりは、盆踊りと動物園がテーマです。まずはミニ櫓と提灯を飾り、盆踊りや民謡の曲に合わせて患者さんが太鼓を叩くと、周りから手拍子や歓声が上がリ、お祭り会場を盛り上げていました。また、千本引きや、ボールゲームの景品には、柔らかく触ると光るものや、中に鈴が入って音が鳴るものが含まれ、患者さんが自然と手を伸ばして触ろうとする様子も見られました。患者さんが制作したキリンや虎、鳥などを展示し、動物園のフォトスポットでの記念撮影が行われると天井近くにいるキリンに視線を向け、笑顔になっていました。海の世界に足を踏み入れると魚やくらげが現れ、その先には、プロジェクターで魚や海の生き物の動画を投影し、海のトンネルが広がっていました。優雅に泳ぐ魚たちに視線を向けてゆっくりと過ごす方や何度もトンネルを通過して様々な海の生き物を楽しむ方もいらっしゃいました。北海道医療センター附属札幌看護学校の学生ボランティアにもお手伝い頂き、賑やかで楽しい夏まつりになりました。



## 第9回いきいき三角山フェスタ

経営企画室 経営企画係長 工藤 北都

9月28日、第9回いきいき三角山フェスタが開催されました。このイベントは「地域のみなさんとの交流を深め、病院に親しみを持ってもらう」ことを目的として、2013年より実施しております。大好評だった前回に引き続いて今回もたくさんの方にお越しいただき、来場者数は過去最高の1022名となりました。ご来場くださいました皆様に感謝申し上げます。

毎回好評の救急車乗車体験は今回も大盛況。救急車内の設備について臨床研修医の説明を受けながら見学や記念撮影をしたりと、普段なかなかできない体験に参加された方々は大変満足されていたようです。



札幌西警察署の協力により警察車両展示が今回も実施されました。パトカーや白バイの他に、災害現場などで活動する高性能救助車も展示され、試乗や記念撮影をしたりとお子さんだけでなく大人の方にも大人気の展示となりました。



病院ならではの体験コーナーも大盛況でした。調剤体験コーナー、血管年齢や脳年齢を測定できるコーナー、CTなどの放射線撮影装置で果物を撮影しどのように見えるか体験できるツアーなど、病院業務の一部を紹介するブースにたくさんの方が足を運んでくださりました。



筋ジス患者さんが作成したイラストや3Dプリンター作品などの展示、患者さんがプログラミングしたゲームを体験するコーナーも大変好評でした。





看護による企画では、手洗い体験コーナーは風邪や様々な感染症が流行しだす季節ということもあり、たくさんの親子連れの方々が参加。特殊な塗料を付けて手洗いをし、塗料がきちんと落ちているかブラックライトを当てて確認する企画です。正しく手洗いできているか親子で再確認する良い機会になったのではないのでしょうか。



メインステージでは、院内保育所「きしゃぽっぽ保育園」の園児によるお遊戯、奇術師わたるんによるマジックショー、フラダンスショー、HMCアンサンブルによる演奏などステージ企画がおおいに盛り上がりました。また、がん市民公開講座は「がんを早期に見つけるには？」をテーマに、当院医師より5つの演題を講話しました。がんの早期発見を目的としたがん検診の重要さや様々な部位のがんのお話といった内容で、傾聴されている方が多くいらっしゃいました。



その他にも歯科医師会・薬剤師会による出展、キッチンカーによるおやき・チュロスなどの販売、企業ブースによる福祉用具展示などたくさんの企画やブースがありました。来場者アンケートでは「前回も参加し今年も楽しみに来た」「健康について楽しく考えることができた」「医療を身近に感じる事ができた」など、たくさんのご好評の声をいただきました。今後も地域住民の皆さまに喜んでいただけるイベントを企画していきます。



## 附属札幌看護学校 学校祭

看護学校 教員 玉村 真弓

9月28日に、本校にて学校祭が開催されました。コロナ禍となり縮小されていた学校祭も5類へ移行後、通常規模の学校祭に戻り、今年で2度目の開催になりました。今年は病院の三角山フェスタと同時開催ということで、例年以上に賑わい大成功となりました。

学校祭は2年生の実行委員が中心となり、食品やバザー、看護体験などのブース毎に係を決め、各係が意見を出し合い学生主体で開催しています。どのブースも大盛況でした。一部ですが、各ブースを担当した学生からの感想を掲載したいと思います。

### ◆綿あめ屋さん

今年、大変盛況だったのはわたあめ屋さんでした。教員お手製のわたあめは、カラフルで写真映えるかわいいわたあめで、あまくておいしく大人気でした。開始5分で70個が完売するという人気商品でした。



### ◆食品販売

学校祭ならではの食品販売は学校駐車場にテントを張り、焼き鳥・焼きそばやフランクフルトを、学校内では31アイスクリームやいちご削りを販売し、昨年より豊富な品揃えで本番に臨みました。焼き鳥やフランクフルトなど焼くことは大変でしたが、お祭りならではの食品を販売でき、こちらも大好評でした。



### ◆バザー係

教員・学生から寄付いただきました品物をバザーで販売し、売上金は能登地震災害支援基金とMake-A-Wish（難病とたたかう子供たちの夢をかなえるためのボランティア団体）に寄付することができました。





### ◆看護体験コーナー

看護学校ならではの体験コーナーや展示がありました。看護体験コーナーでは、包帯巻きや正しい手洗い方法、手浴体験や高齢者体験の4ブースで体験コーナーを行いました。来場者には香りの良いせっけんを用いて行った手浴は好評でした。



### ◆看護学概論ポスター展示

1年生が講義で作成したポスターの展示発表では来場いただいた方に投票していただきました。優秀作品を発表し表彰を行い、今後の学習モチベーションにもつながりました。



### ◆災害ゼミ

教員プロデュースによる災害食作りコーナーでは、災害時に役立つビニール袋を使った炊飯やおにぎりを作成しました。この特別ゼミは不定期ですが昼休みの時間を利用して開催されています。万が一の時に役立つ情報も満載です。



このほか来場の子供たちに人気の射的コーナーや独自に作成したフォトスポットも人気でした。学生全員で協力し、学校祭を盛り上げてくれました。

学校祭実行委員長からは、参加してくれる来客の皆様、学生が笑顔で楽しめるように、協力して準備を進めてきました。参加してくれた皆様から楽しかったと笑顔で感想を言って頂いたことで頑張りが報われたと嬉しく感じています。学校祭で得た達成感や喜びを励みにこれからの学校生活も頑張っていきますと感想と今後の意気込みを聞く事ができました。

このように、学校祭の企画・運営を通して学生の自信につながり成長を感じることができた開催となりました。今後も来場いただく保護者・地域の皆様や学生が楽しむことができるような企画・運営を行っていききたいと思います。



